

ふるさと住民票



三木町で生まれ愛着を持ちながらも現在は離れたまちで暮らす人(出身者)には、「おかえりなさい」。町外から三木町に通勤している人や三木町にふるさと納税した人、三木町との縁がはじまる人には自分の故郷のように親しんでもらいたい「はじめまして」の気持ちに「おかえりなさい」もプラス。どちらも三木町を応援してくれる人、大募集です。ふるさと住民票に申し込むと、「ふるさと住民カード(3種類から選べる)」が発行され、「ふるさと住民」として登録されます。(登録は無料)三木町とふるさと住民との関わりをより密なものとしていくための特典サービス(メリット)も満載です。



登録はこちらから



し し け 獅子家が三木町を プロモーション

マイ 舞ちゃんは父(獅子太鼓)と母(鉦)が会って生まれた
天真的な女の子。弟(牡丹)はボタンくずしを極めるワンパク屋さんで、妹(平)は平獅子を探求し続けるちょっと内気な子。カナダディズベリー出身の獅音くんは舞ちゃんのheartを射止めた夫。
舞ちゃんと獅音くんとの間に生まれた獅子大好きな
「幸」ちゃんは、三木町の人たちをもっと幸せにするために、これから活躍していきます。



香川県三木町役場 政策課

〒761-0692 香川県木田郡三木町大字氷上310
☎ 087-891-3302



ホームページ

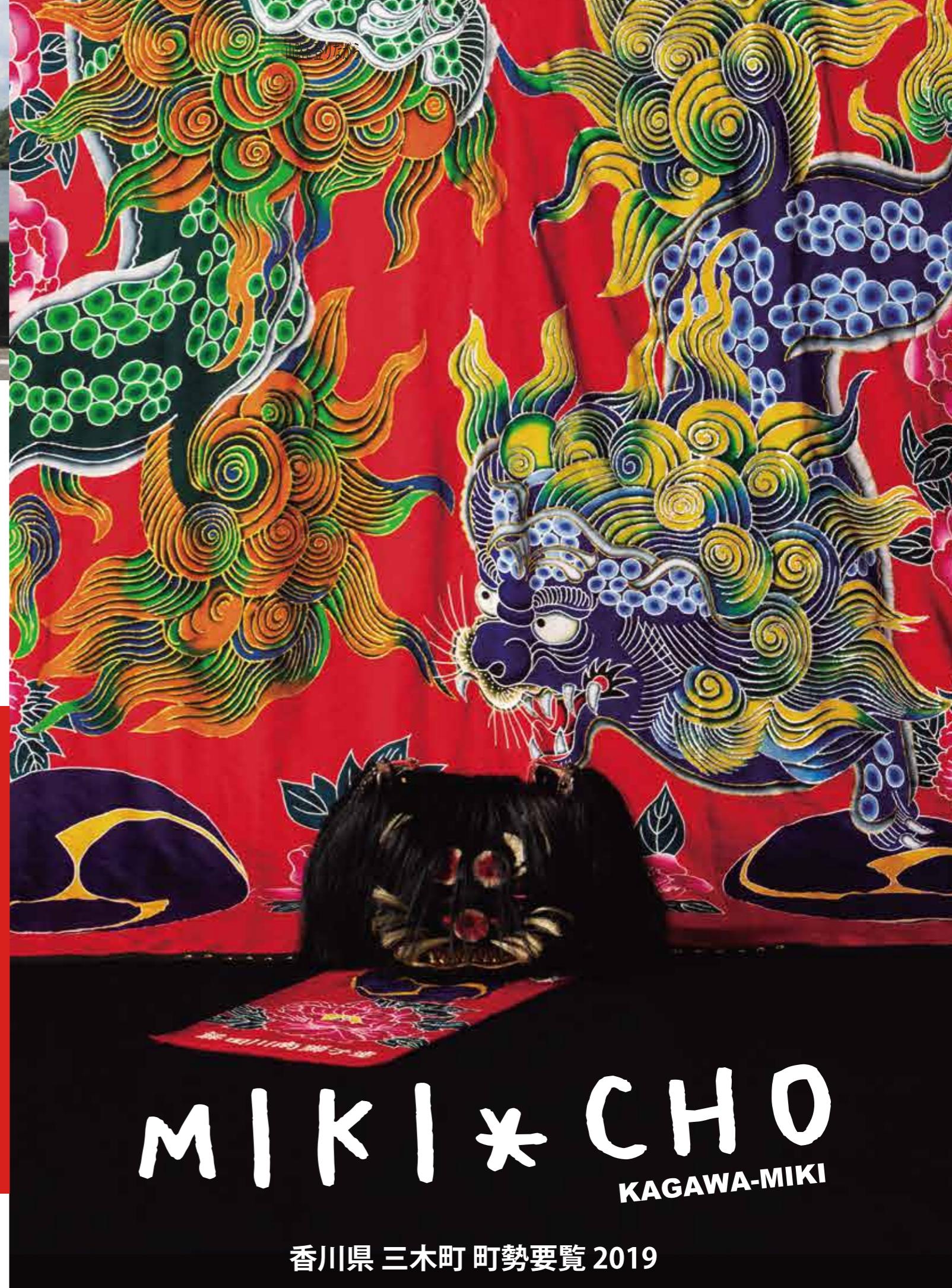


Facebook



Instagram

2019年3月発行(3,000部)



香川県 三木町 町勢要覧 2019

はじめて、 おかえりなさい 三木町です。

町のシンボルは何と言っても東讃富士と呼ばれる「白山」。
柔らかな線がおむすび型を描く白山は眺める人々の心を
穏やかにするような優しい山です。
四季の移り変わりに見せる山裾の風景は美しく、数多くの
史跡があり、今なお懐かしい農村風景が残ります。

ベッドタウンとして、高松市に隣接し、「ほどよい」暮らし
やすさと、「ほどよい」田舎の景色が残り、旧さと新しさが
ほどよく混在している町。

そんな環境でゆったりと暮らしているせいか、ここで出会
う人はみんな本当に心が穏やか。
自分の人生をしっかりと見つめつつも無理をせず、情報の
渦に惑わされることなく生きる姿はきっと、都会では忘れ
られた貴重なライフスタイルかもしれません。

人口約27,000人のこの町は、今ひそかに移住してくる
人々で賑いつつあります。
その理由はきっとこんなところにあるのかもしれません。
初めてこの町に来た人も人の優しさや温もりに気づくこ
とでしょう。
はじめまして、お帰りなさい。
心からホッとする三木町です。



三木町長
伊藤 良春



CONTENTS

第1章

LIVE ゆらゆら快適暮らし p.2

第2章

KIDS ゆったり子育て・教育 p.4

第3章

ENJOY 家族や友達同士で楽しむ p.8

第4章

WORK モーっといろんな働き方 p.12

第5章

HISTORY 古くは律令時代に遡る p.16

第6章

FESTIVAL 年に一度のまんて願。 p.18



～希少糖が生まれ、研究が続く三木町～

香川大学農学部
いずもり けん
何森 健 特任教授・名誉教授

希少糖とは、自然界に微量しか存在しない单糖とその誘導体と国際希少糖学会で定義されました。希少糖は自然界に少ないので高価でもあり「研究する意味がない」と考えられていました。
平成3年に香川大学農学部の何森健名誉教授が、農学部の食堂裏の土の中から希少糖を作るのに有効な酵素をもつ微生物を偶然発見しました。
この酵素は安価で大量に存在する果糖を希少糖D-ブシコースへ変える能力をもっていたのです。平成12年にはD-ブシコースを大量に作ることが可能になりました。
微生物が分離された場所に「希少糖発祥の地」のモニュメントが作られています。微生物が分離された場所に記念碑が建立されたのは、世界でも初めてです。香川大学では学部を超えた研究が大きく進展しています。

平成25年に希少糖含有の「レアシュガースイート」が発売され、現在この商品が三木町のふるさと納税返礼品にもなっています。

希少糖は機能性の甘味料としての価値があるだけではありません。地域の活性化にも一役かっているのです。

三木町の山南地区、小篆は人口160人ほど、過疎化が進み幼小中学校が廃校となりました。その跡地を利用した希少糖生産技術研究所では、60代～80代の白衣を身にまとったお年寄り達「小篆ズイナーズ」が、ピンセットとシャーレを手に、ズイナの組織培養を行っています。



「小篆ズイナーズの作っているズイナは『地球上で唯一希少糖を含む植物です』。三木町らしい希少糖の木を活用した地域の活性化です」と何森教授。

三木町で生まれた希少糖は世界へ広がっています。そして今後も研究拠点としての役割を果たし続けていきます。令和元年12月には国際希少糖学会が香川で開催されます。

令和元年の瀬戸芸にも希少糖が参加します。

第1章

LIVE

ゆらゆら快適暮らし



移住にもってこい

移住する場合、「自分がどんな仕事につきたいか」、から始まります。子どものいる家庭は学校のこともよく考えないといけません。それから、移住先を何度も訪れしっかり情報収集することも必要。移住するには、考えなければいけないこと、多くあります。そんなとき、ぜひ頼ってください。二人三脚あなたの移住、応援します。



高まる利便性(中心地、スーパー、住宅のこと)

町内には飲食店やスーパー、衣料品店などの生活機能がコンパクトにそろっているから、日頃生活に必要なものは町内でそろいます。少し中心部より離れた住まいの方もコミュニティバスを利用してお買い物にも出やすくなっています。また、子どもの急な発病など、田舎暮らしは不安ですが、香川大学医学部附属病院をはじめ、10数件の医療機関がそろって、健康面でも安心できます。



豊かな自然

都会の便利さの中心部から、車で約20~30分。自然の谷あいや山が広がるエリアが三木町南部には広がっています。ほんとうの意味での自然回帰できるような、河や山、林に包まれた空間が広がっています。



充実した交通網(ことでん・バス・空港)

田舎の風景が気持ちを落ちつかせるけれど、決して不便な生活かというとそうではありません。それどころか、高松の中心部へは「ことでん(高松琴平電気鉄道)」で30分。車でも同じくらいの時間で行くことができます。通勤や通学される方にとっては便利な距離にあります。駅の数も7つと多く、町の中心部を通り抜けて行きます。県外へのアクセスも良好で、大阪圏へは高速バスで2~3時間と日帰り旅行も可能です。平成31年3月には高松自動車道の4車線化が完了し、利便性・安全性が高まっています。都会とのちょうどよい距離感を保ちながら、田舎でのゆったりとした生活。両方を兼ね備えるぴったりの町です。



【三木町からのアクセス】

高松へ(車・電車)…30分
関西へ(車)…2時間半
岡山へ(電車)…2時間
高松空港へ(車)…30分
東京へ(飛行機)…1時間

【町勢データ】



三木町

★面積 75.78km²
(東西5.8km、南北18.54km)

★人口 27,684人(平成27年)

★世帯数 10,667世帯(平成27年)

★姉妹都市

北海道亀田郡七飯町(平成11年10月11日提携)

カナダ ディズベリー町(平成21年4月28日提携)

★町木クロガネモチ

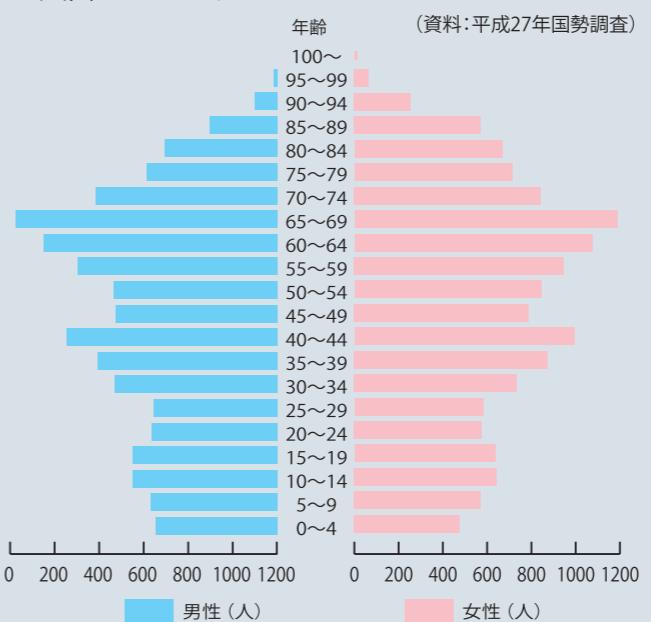
★町花 シャクヤク

■世帯・人口の推移

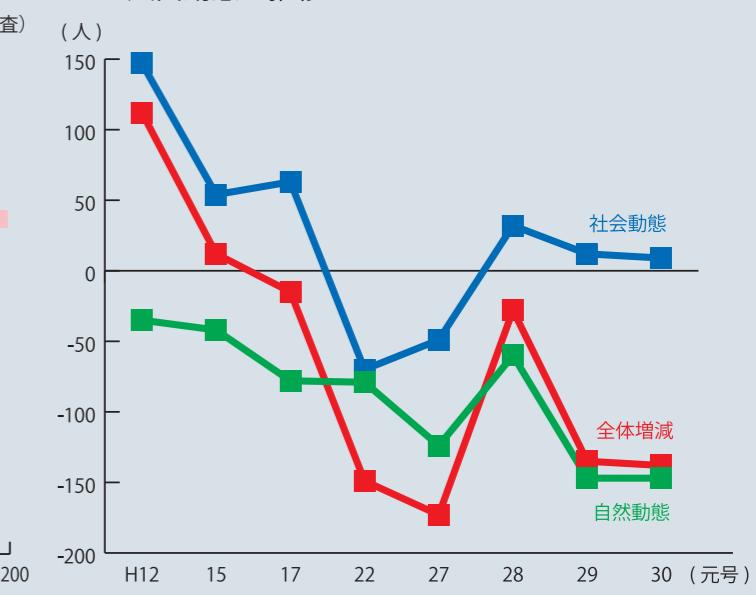
Changes in the Number of Households and the Population (資料:国勢調査)



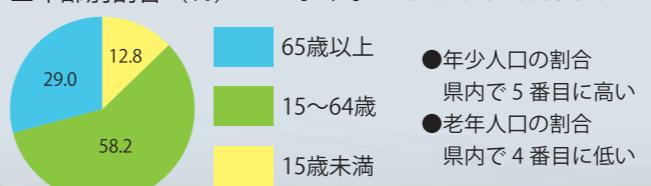
■人口ピラミッド(男女別・5段階級別) Population Pyramid



■人口動態の推移 Population Changes (資料:人口移動調査)



■年齢別割合 (%) Percentage by age



(資料:平成27年国勢調査)

●年少人口の割合
県内で5番目に高い

●老人人口の割合
県内で4番目に低い

■昼夜間人口比率 Ratio of daytime population to nighttime population

(資料:平成27年国勢調査)

夜間人口 27,684人

昼夜間人口比率 89.70%

昼間人口 24,845人



第2章

KIDS

これから子育てを考える方
今子育て中の方に
ぴったりの町です。

三木町は「日本一子どもを産み育てやすい町」をめざし、「みきを故郷にええんちゃうん！子育て大作戦」を旗印として結婚・妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援を行い、子育て家族の暮らしを応援しています。

子育ての時期に応じた支援メニューを用意しています。

子育ての情報を1冊にまとめた、子育てハンドブック「MIKI IKUBON(みき育ほん)」は、子育て支援情報だけでなく、公園情報を取りまとめたマップも付いており、三木町で子育てするなら知っておきたい情報が満載です!!



子育てステージにあわせた 切れ目のない サポート体制が充実

妊娠～出産期

出産前後の女性ははじめての体験ばかりで、心や体が不安定になります。そんなママたちのために、三木町では産前産後の女性をケアするサービスが充実しています。妊娠中のプレママや産後間もないママが週1回集まる「ママカフェ」や、宿泊や通所で助産師からのアドバイスが受けられる「産後ケア事業」など、三木町は子育てに奮闘するママを全力でバックアップします。



ママカフェ



産後ケア

乳幼児～就学期

保育所や幼稚園などの施設を利用するが多くなる時期。パパ・ママは仕事場でも家庭でもやることがたくさん! 獅子の手も借りたいぐらいです。三木町ではお子様が急病の際に利用できる「病児・病後児保育」やホームヘルパーが家事援助を行ってくれる「子育てホームヘルプサービス」、急用やリフレッシュしたい時に助かる「乳幼児一時預かりサービス」などサポート体制が整っています。「子どもが急病で保育所に預けられない時に助かりました。」「家事の負担が軽減されて子どもと触れあう時間が増えました。」とパパ・ママからも好評です。



病児・病後児保育

三木町に居住する生後6ヶ月から小学校6年生までのお子様が病気の療養中や回復期にあって、集団保育や学校生活が困難な場合に、讃陽堂松原病院内の病児保育施設「まつばら」やすくすくクリニックにし内の「すくすくSUN」でお預かりします。



乳幼児一時預かりサービス

町内の生後6ヶ月から小学校就学前のお子様について、保護者が病気や冠婚葬祭、リフレッシュしたいとき、その他の緊急時に、一時預かり施設「まんでがんぶれいホーム」(7:30~24:00対応)でお預かりします。



子育てホームヘルプサービス

妊婦および3才未満のお子様を養育する保護者を対象に、子育てホームヘルパーを派遣し、家事を援助します。

就学期

小学校に入学したからといって安心はできません。共働きの家庭では放課後に子どもがどう過ごすか不安ですよね。三木町の「放課後児童クラブ」は各学校の敷地内にあるので寄り道の心配もありませんし、小学校1年生から6年生まで受け入れています。友達と一緒に宿題をしたり外で遊んだり、友情も深まります。また、パパ・ママからも「移住者で知り合いも少ないので、児童クラブでのパパ・ママとの繋がりができたのが嬉しかった。」との声も。今後は英語教育にも力を入れる予定で、グローバルなお子様を育てるのには最適です。

子育て支援医療費助成

中学校卒業までの子様が通院・入院した際に、健康保険診療による医療費の自己負担分を助成します。

第2子以降の学校給食費助成

18歳を上限として第2子以降に該当する町立小中学校の児童および生徒に対して、保護者が10月から3月に支払うべき学校給食費を全額助成します。

第2子以降の利用料助成

各児童クラブ(町内に13教室)にて、平日は18時半までお子様をお預かりしています。また、世帯で第2子以降の場合、第2子以降の児童に係る利用料が半額となります。(同じ利用区分の場合のみ)※長期休業期間中は午前7時半から利用できます。



ママカフェ

子育て中のママの気軽な集まりの場として、防災センターで、助産師によるママカフェを開催。子育て中の悩みなど、何でもお話しできる場になっています。

産後ケア

産後、お母さんやご家族がゆとりをもって赤ちゃんとの生活が送れるよう、助産所で赤ちゃんのお世話や授乳について教わることができます。



教育

夢に向かって挑戦し、 心豊かに成長していく子どもたちに

未来を担う子どもたちが、大きな夢を抱き、健やかに育つよう、質の高い教育の実践と心身の育成を促す環境づくりに取り組んでいます。

学校・家庭・地域が一体となり、地域における教育力を高めるとともに、地域をあげて子どもを育てる取組みを推進しています。

幼稚園教育は、人間形成の基盤を養うものです。家庭・地域の方との交流活動や季節ごとの栽培飼育活動、毎日の主体的な遊び、生活における様々な体験等を通して、自尊感情を高め、基本的生活習慣等の生きていくための基礎を培っています。

少子化や保護者の就業状況に応じた多様な保育体制を工夫できるよう、小規模保育所を併設した新しい幼稚園が開園しました。



三木中学校運動会



小規模保育所を併設した「ししの子幼稚園・保育所」



田中小学校と白山小学校では学校運営協議会を設置し、地域の力を学校運営や学校教育に活かすコミュニティ・スクールの取組みが進められ、大きな成果を上げています。



田中太鼓

小学校と中学校はともに連携し、児童生徒が主体となる様々な活動に取り組んでいます。

小学校3年生から外国語教育の充実に取り組み、空調施設やICT教育関連整備等、学びやすく快適な環境づくりを進めています。一人ひとりの子どもを大切にした質の高い教育活動が行われ、多くの児童生徒が主体的に学び、確かな学力を身につけています。

小学4年生と中学1年生を対象に、小児生活習慣病予防対策事業を実施しており、血液検査の結果から保健指導や保健学習に取り組んでいます。

また、北海道七飯町との小学生交流事業やカナダ・ディズベリー町との中学生交流活動（メープル交流事業）も行っています。両町の親睦が深められ、グローバルに活躍する子どもたちが育っています。



カナダ・ディズベリー町との中学生交流活動



タブレットを取り入れた授業

北海道七飯町との小学生交流事業

第3章

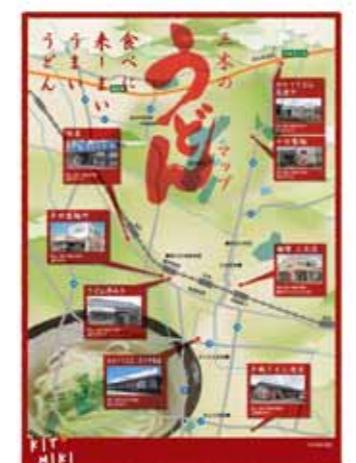
ENJOY

親子で遊べる場所も充実。
今度の休みはみんなで
いっしょに体を動かそう。

三木町には子どもがおもいっきり遊べる場所があります。遊具や遊歩道が整備された「ぼうけんパーク」。また、スポーツ施設も充実していて、体育館、プール、艇庫、屋内ゲートボール場、野球場、サッカー場、テニスコートがある「三木町総合運動公園」。

夏は大きなウォータースライダーがあるプール、冬は屋内スケート場、通年ではテニスも楽しめる「トレスタ白山」など、休みの日は子どもと一緒に出かけたくなる施設がいっぱい。

自然がいっぱいの三木町。
山南地域(三木町の南にある小蓑・朝倉地区)にはキャンプ場や綺麗な水が流れる滝(虹の滝)、ホタルが飛び交う川もあります。春は新緑と山桜、夏はキャンプ場で川遊びやバーベキュー、秋は紅葉狩り、冬になると雪景色を楽しむ、など四季折々の楽しみ方があります。



うどん県の 本領発揮! 三木町の うどんマップ



香川県といえば、「うどん県」と自称するほどたくさんのうどん屋さんがあります。
町内だけでざっと12件!!!
平日でも休日でもお昼時になると、どこのうどん屋さんも行列。メニューはといえばオーソドックスなかけうどんから、肉うどんや、しつぽくうどんなんていふ変わりメニューまで。毎日うどんじゃちょっとという方のために、おそらくあなたはその味のとりこになること間違いないし。



三木町うどんマップは三木町魅力発信サイト
「KIT*MIKI」からダウンロードできます。

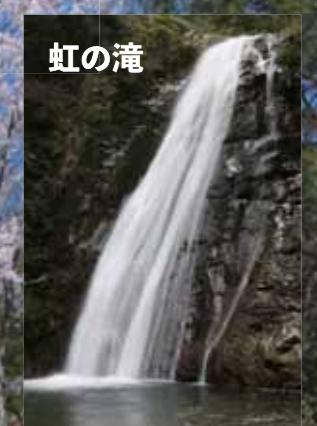
自然の中で 思いっきり遊ぼう

ぼうけんパーク

子どもの体力向上や家族連れなどで自然環境を楽しむことを目的に整備され、園内には、子どもたちの遊具や遊歩道があり、幅広い年齢の方が楽しみながら体力づくりに取り組めるようになっています。また、山大寺池を一望できる展望台も設置され、訪れた人の目を楽しませてくれます。



二本杉



虹の滝



太古の森

サンサン館みき



サンサン館みきは、香川県立高松園域健康生きがい中核施設として平成15年5月にオープンし、その後地域住民の健康づくり、生きがいづくり、ふれあいづくりを総合的に支援することを目的として、平成22年4月に三木町に移譲されました。本町の生涯学習の中核となる施設で、各種講座を行う部屋やトレーニング室といった総合的な機能を有する複合施設として、町内外問わず多くの方が利用しています。

三木町文化交流プラザ

三木町文化交流プラザは、優れた芸術・文化に触れる機会を提供する目的で平成9年3月に建設され、世界の名器スタインウェイピアノを配備している800席のメタホールをはじめ、200席の小ホールや6万冊の図書などが揃う情報資料室などを有し、文字どおり文化創造の拠点施設として人々が集まり、交流できる施設として広く利用されています。



スタインウェイピアノ



情報資料室(メタ・ライブラリー) メタホール

Café樹の子

(防災センター1階)



役場に隣接する防災センター1階に、カフェがあるのをご存知でしょうか。社会福祉法人「大樹福祉会」が、障がい者の就労支援事業として運営する『Café樹の子』が、平成28年4月からオープンしています。

地元農家の米や野菜をふんだんに使ったメニューは、町の管理栄養士のアドバイスをもとに考えられており、体に優しいものばかり。人気の定番メニューから、その日しか食べることができない特別メニューも。身近で日常的な場面において、地域の人たちと障がいのある人たちとの交流の場を設けることにより、広く障がいへの理解を促し、生きがいを持って働く場「出番」と、住民同士が繋がる場所「居場所」づくりを応援します。

気に入った者同士で
過ごすこんな居心地
のいい場所もあるよ



サン・cafe（サンサン館みき1F）

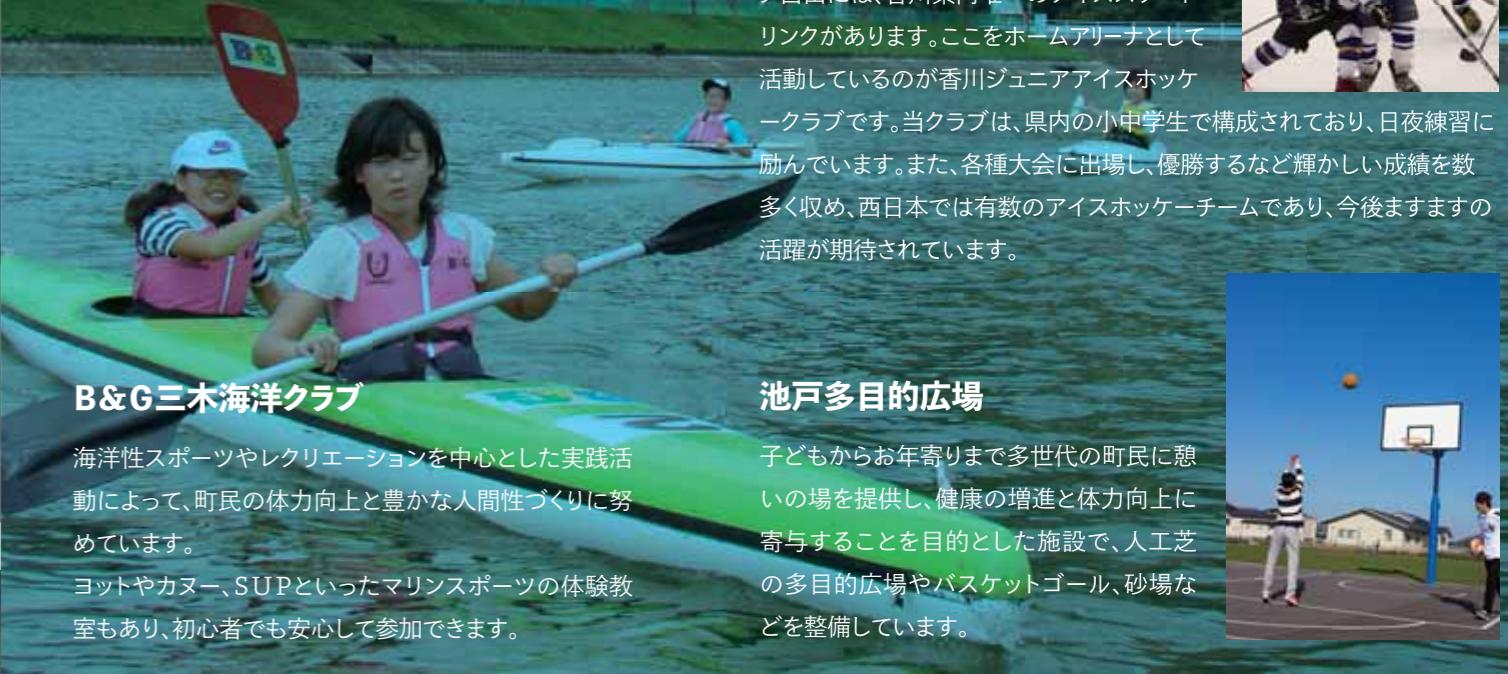
本棚に囲まれたブックカフェのような雰囲気の中、飲食をしながら気軽にくつろぐことができるスペースで、第3の居場所(サードプレイス)として整備されました。コーヒーを飲んだり、読書をしたり、また無料Wi-Fiも配備されているのでスマートフォン手にソファーでゆっくりすることができ、町民の憩いの場として大変好評を得ています。

三木町総合運動公園

美しい景観と恵まれた自然の中に位置する「三木町総合運動公園」は体育館、プール、艇庫、屋内ゲートボール場、野球場、テニスコート4面、天然芝サッカー場2面を有し、年間を通して職場、グループ、家族など誰でも気軽に利用できる運動施設です。また、周辺には、勇壮な嶽山、讃岐百景の一つである山大寺池があり、訪れた人を楽しませてくれます。



体を動かせる施設がたくさん



B&G三木海洋クラブ

海洋性スポーツやレクリエーションを中心とした実践活動によって、町民の体力向上と豊かな人間性づくりに努めています。

ヨットやカヌー、SUPといったマリンスポーツの体験教室もあり、初心者でも安心して参加できます。

みき少女サッカースクール

町民のスポーツ活動の拠点となっている総合運動公園で活動している「みき少女サッカースクール」は、サッカーを通じて少女の健康な身体と心を養うとともに、「サッカーの技術」やその基盤となる「運動能力」、状況を的確に判断する「考える力」などを身につけ次代を担う少女サッカー選手の育成をめざして活動しています。



アイスホッケー・トレスタ白山

雄大な自然に囲まれたリゾート宿泊施設として、県内外の人たちから親しまれているトレスタ白山には、香川県内唯一のアイススケートリンクがあります。ここをホームアリーナとして活動しているのが香川ジュニアアイスホッケークラブです。当クラブは、県内の小中学生で構成されており、日夜練習に励んでいます。また、各種大会に出場し、優勝するなど輝かしい成績を数多く収め、西日本では有数のアイスホッケーチームであり、今後ますますの活躍が期待されています。



池戸多目的広場

子どもからお年寄りまで多世代の町民に憩いの場を提供し、健康の増進と体力向上に寄与することを目的とした施設で、人工芝の多目的広場やバスケットゴール、砂場などを整備しています。



日本人2人目のNBAデビュー 三木町出身のトップアスリート

渡邊 雄太さん



日本人2人目のNBAデビューを果たした、三木町が誇るトップアスリート。

小学1年時に、三木ミニバスケットボールスポーツ少年団(三木トラスターズ)で本格的に競技を始め、高校2、3年時には、ウインターリーグで2年連続全国準優勝し、ベスト5にも選出されました。その後、全米大学体育協会(NCAA)1部のジョージワシントン大学に進学し、1年目から活躍し、4年目には、アトランティック10カンファレンスで最優秀守備選手に選出されました。そして、平成30年7月には、念願のNBAメンフィス・グリズリーズとツーウェー契約を結び、バスケット界の世界最高峰の舞台で挑戦を続けています。

第4章

WORK

第一産業では、主要産物のいちごやアスパラガス、花卉栽培も盛んで、小蓑地区の山南営農組合も活動の幅を広げています。本町では、それらの農産物の栽培方法や経営のノウハウなど先進農家の指導を受けることができ、香川県農地機構との密接な連携で農地情報も提供、また支援資金や融資制度も充実し、就農をトータルにサポートする体制が整っています。

働き方はモーっと いろいろあって いいんじゃないかモ～

また、工業分野では、直接消費者とつながる産業は少ないかもしれません、希少糖入りのこんにゃく加工品製造や道路標識などで高いシェアを誇る企業、高速のサービスエリアに700種類もの土産品を卸す企業、世界的アクリルパネルメーカーなど、最先端の技術や全国で通用する商品力を持つ企業が多く存在します。

『こんにゃく界の革命児 元祖マンナンレバー』

ハイスキーフード工業

こんにゃく界の革命児 元祖マンナンレバー。“レバ刺しそっくりのこんにゃく”として旋風を巻き起しました。

見た目のユニークさは話のネタに最適。こんにゃくと思えないほどレバ刺しの味わい、食感に近くて、なおかつ低カロリー。



レバ刺し風こんにゃく
元祖マンナンレバー



マンナンスマーガー



株式会社 森のいちご
代表 本田 龍さん

『ある日、 森の中、くま園長さんに 出会った～♪』

「体重20kg減だから、前回の町勢要覧の写真と全然違うね(笑)」笑顔でそう話す、代表の本田さん。ホームページでも、笑顔の写真とともに『くま園長』と紹介されており、本田さんの親しみやすさがにじみ出ています。

そんな『くま園長』が手掛ける『森のいちご』では、総面積3,870坪(12,900m²)、ビニールハウス10棟でいちごを栽培しています。従業員は7名(内男性5名)で、平均年齢は32歳です。

くま園長は、いちご狩りだけでなく、『ゲームコーナー』や『動物ふれあい広場』、『うどん割(うどんを食べた人は100円引き)』など、面白いコンテンツをたくさん作っています。それは、『子どもが大人になっても来たくなるような、最高の思い出作り』の場にしたい』という強い思いからです。

「今後は、森のいちごをテーマパーク化したい。いちごで染物ができたり、いちごの加工品が作れたりと様々な体験ができる、宿泊もできる。そんな観光農園にしたいです。」



『ミルクの量は 愛情に比例する』

広野さんは2代目として、現在、乳牛30頭・和牛17頭・子牛60頭を育てているほか、ジェラテリア『MUCCA』2店舗、ピッツェリア・チーズ工房『VACCA』1店舗を開くなど、酪農だけでなく、牧場でとれたミルクの加工・販売まで行っています。また社員は26名(内女性が7割)おり、平均年齢31歳の若い力あふれる会社です。

「うちの自慢は、牛たちに対する愛情の大きさです。」と笑顔で語る広野さん。牛の行動管理をAIで行ったり、常に先立ちで歩く牛のために牛削蹄師を呼んで牛の蹄を削ったり、『牛たちがどれだけ快適に過ごせるか。』を常に考えているとのこと。

「今後は、VACCA・MUCCA周辺を発展させたいです。宿泊施設や農業体験の施設整備を進め、子どもの時から農業に触れる場を作り、農業のイメージアップにつながればと思っています。」



「有限会社 広野牧場」
代表取締役 広野 豊さん

『1人でやるには 限界がある。 じゃあ”協働”で やっていこう！』

「JAの元々の始まりは、『1人でやるには限界がある。じゃあ”協働”でやっていこう!』というところから。

だから、現在でも『みんなで力を合わせて』ということを重視しています。

若い担い手も増え、今までと同じやり方ではいけないと思っているので、時代に合わせた指導等を行っていきたい。また、情報交換できるような場を作ったり、人(担い手、働き手)を手配したりということを考えています。



香川県農業協同組合
中央地区営農センター
センター長
谷井 弘さん

『夢は、ハウス面積10,000坪！』

広大なビニールハウスの中で多くの草花を育てている石原さん。しかし、最初からそんなに成功ばかりというわけではないそうです。

「自分に先生はいません。独学で試しては失敗、試しては失敗を繰り返し、成功につなげてきました。」その結果、ブーケを作る際に用いられる『リキュウソウ』や、生産者が減少している『ケイトウ』、1株2,000円ほどする人気の高い『クレマチス』など、育てる種類が増えています。

また、育てる環境の整備も欠かさず行い、ハウス内は冷暖房完備かつ特殊なLEDも設置しており、温度や光の管理をすることで、1年を通して栽培ができる環境を整えています。

「今後はハウスの面積を3,000坪(約9,900m²)から10,000坪(約33,000m²)まで広げたいと思っています。ゆくゆくは三木町が花の産地と言われるまで発展させたい。また、出荷の効率性を高めるために、全国の花業者が連携できるような配送ルートを整備したいです。」



「株式会社 石原」
代表取締役 石原 和昭さん



株式会社 三森
代表取締役社長 森 博昭さん



『世代を超えたコミュニケーションスポーツ』

三木町の南にある名門『高松グランドカントリークラブ』は、氷上コースと鹿庭コース2コースからなる、県内で唯一36ホールあるゴルフ場。国内のみならず海外から多くの方が訪れています。「うちのゴルフ場の強みは、整備の行き届いたコースです。特にグリーンには力と愛情を入れています。」そう語るのは、お茶目で賛美の支配人の豊永さん。近年においては、若い世代を中心としてゴルフ離れが進んでおり、またゴルフをする人の年齢層も上がってゴルフにも高齢化の波が来ています。逆を言えば、ゴルフはどの年齢でもできるスポーツであり、遊びの要素もあるので、コミュニケーションツールとしては最高です。豊永さんは、「より多くの人たちにゴルフの楽しさを知ってもらうためにも、ゴルフ初心者や若い世代の人たち、女性が来やすいようなゴルフ場にしていきます。」とグリーンを見つめながら語ってくれました。



『ゼロから作る』

三木町は町制65周年を迎えますが、そんな三木町と同じ年の会社があります。その名も『三森』。名前も三木となんだか似ている。気になる…。というわけで、株式会社三森に伺いました。

三森はFAライン(自動化機械)の製造を行う会社で、設計から据付までを行います。

「大手は試作品を重ねるのに対して、うちは1発勝負で行います。それは技術と経験の賜物です。経験豊富な従業員が多いのがわが社の強みです。」

そう語るのは森博昭社長。そのおかげでお客様の『ここを変えてほしい!』といった細かい要望にまで応えられるそうです。

森社長は、「今までの経験と技術を生かして、お客様が使いやすい、発注しやすい機械を作りたいです。そのためにもUターンやIターンの人など、多くの人に三木町には”就職口”があることを広めて、良い人材を確保したいです。」と今後の展望を語ってくださいました。



株式会社コート
代表取締役社長 堀 具王さん



株式会社マルシン

代表取締役
吉田 宏樹さん



有限会社 藍色工房
代表取締役 坂東 未来さん

『“安心安全”な商品づくり』

「なんでもある時代ですから、お土産品にも付加価値をつけたり刷新したり、手にとてもらえる工夫がより重要になってきています。」と語るのは吉田社長。マルシンは四国内の空港や駅、高速のサービスエリアなどに土産品を卸し最近では菓子の製造も始めています。その種類は、食品だけで約700種類、そのうちオリジナル商品が7割を占めています。毎月商品開発をし、更新し続けるなど、新鮮さがなくならないよう努力しているそうです。

また、町内のいちご農家と「農商工連携」して商品を作ったり、小麦は「さぬきの夢」を使うなど、そこには「安心安全な商品を提供したい」という社長の強い思いもあるそうです。

「地元の食材を使うなどして、地元を押し出したいと思っています。そうすることで、商品が”安心安全”なものだと感じてもらいたい。四国近郊にとどまらず、都市圏をはじめ各地への販路拡大にも力を入れています。」

『愛から藍ができた』

「藍は昔から薬草として飲まれるくらい、薬用効果があると言われています。また、『藍染めは“着る薬”』とも言われたりします。」そう藍について語ってくれたのは、坂東未来さん。坂東さんが社長を務める「有限会社 藍色工房」は、ご主人を含めた10名の従業員の方々が働いており、肌質や季節で使い分けられる数種類の藍の手作りせっけんや藍染め製品など様々な製品の製造・販売を行っています。

「突然スイス人が来店したり、中国人がSNSで見た製品を欲しいと言っていると名古屋のホテルから電話が来たり、と外国人の方々からも人気が出ています。『昔からの日本の良いものを使いたい』という声に応えられるよう、今後も頑張っていきたい。」そう語る坂東さんは、三木町に多くいるいちご農家さんと連携して、背の高いイチゴの栽培棚の半分くらいの位置に藍を植え、地元三木町で藍を多く育てられるような、新しく面白い計画もしているそうです。



協和化学工業株式会社
取締役医薬製剤事業所長
青木 恭二さん

『真に社会に貢献できる製品づくりを、独自の技術で究めます』

協和化学工業は非ハロゲン系の樹脂安定剤や難燃剤などの工業用製品、制酸剤や樹脂性賦形剤などの医薬・食添用製品、更には医療用医薬品などの製造・販売を行っています。坂出本社の他に、屋島工場や東京営業所、そして三木町にも医薬製剤事業所があります。

酸化マグネシウム製剤シェアNO.1のリーディングカンパニーとして三木町の事業所では医療用医薬品を中心に製造販売を行っています。

平成29年には年間約20億錠以上の錠剤がここ三木町から出荷されました。

「今後は地域との関わりをより大切にしていきたいと思っています。また会社もどんどんと発展させていきたいです。地元の人を始めとして、より能力のある、やる気のある人材が来てくれたらと思います。地元三木町出身の学生など若者も大歓迎です。」そう青木事業所長は今後の展望を熱く語ってくれました。

第5章

HISTORY

古くは律令時代に遡る 讃岐平野の1丁目1番地

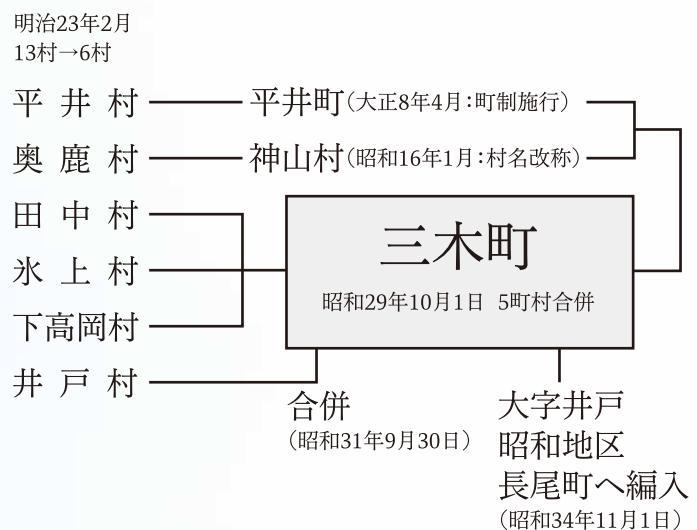
律令制が引かれた古代奈良時代に讃岐平野の文書に残る歴史は始まります。現在も駅名に残る「公文明」という名は古代の役所の名残「公文所」が設けられていたといわれています。公文所とは奈良・平安時代に租税や所領、年貢などをつかさどった役所です。白山から長尾にかけて、碁盤目状の田畠が多く、白山山頂からもはっきりと確認できます。当時の讃岐平野の条里制の基準が白山であったことはあまり知られていません。

現在の三木町は明治23年当時「平井村、奥鹿村、田中村、氷上村、下高岡村、井戸村」の6つの村が幾度かの合併の後、昭和31年9月に合併して出来上りました。

三木町の古い歴史を知りたい方は一度、池戸公民館へ。以前は郡役所として機能していた場所で、今もその建物は町指定文化財として大切に保管されています。



■三木町変遷のあゆみ



池戸公民館(旧郡役所)

三木町の偉人



地道な化石調査研究、
メタセコイアを発見。
三木 茂さん



世界的に認められる植物学者、三木茂博士は今から百十余年前に三木町鹿庭で生まれました。彼は生きていた化石=メタセコイアを発見し、命名しました。「科学は低い所があると、全体の進歩が阻まれる。基礎資料づくりの完成に全力をつくすつもりでいる。」との信念で、その後多くの植物遺体(化石)を集めました。彼の研究は、植物学だけでなく古生物学や地質学まで幅広く貢献しています。



農業の向上・発展に
生涯至力した
奈良 専二さん

三木町池戸出身。8歳で一輪車の原型=猫車を考案し、さらにコロ馬鍬を創作したほか、精米機、砂糖しめ機など多くの農機具の改良を行いました。60歳

で上京し、研究や提案などの成果を出版。内国勧業博覧会でも度々受賞します。68歳で秋田県の農民の熱望に応え、地元に大いに貢献。農業の向上・発展の基礎づくりに至力し、明治の三大老農と言われています。継続褒章受賞。死後32年後に從五位を贈られています。



ひんがた
紅型の復興と
首里城の復元に寄与
鎌倉 芳太郎さん

沖縄に伝わる美しい衣装と紅型に魅了された彼は、すたれゆく紅型を後世に残そうと熱心に調べ、消えゆく型紙や布を大量に自費で集めました。更に



三木町の伝統工芸士



竹彫りの魅力に惹かれて70年
**彫一刀彫
西村 文男さん**

平成29年に厚生労働省の「現代の名工」に選出された竹彫工の西村文男さん。初めて彫刻刀を手にしたのは小学生のころ。父親の傍で彫刻刀を握りつづけました。高校卒業後は一般企業に就職す



スキのないフォルム、威厳ある鬼の顔
**讃岐装飾瓦
神内 俊二さん**

鬼瓦の一つ一つから職人の奥深い技術を感じます。神内さんは、家の屋根に魔除けとして乗せる鬼瓦を何十年と作ってきた讃岐装飾瓦の伝統工芸士。土選びから成型、そして焼き上げまでをすべて手作業で行います。



一生職人として生きる
**讃岐桶樽
谷川 雅則さん**

おひつ 風呂桶や御櫃、風呂イスなど、讃岐桶樽を製造する、谷川木工芸の谷川雅則さん。後を継ぐまでは桶づくりを手伝った経験もなかったため、最初は不慣れなことが多く「父親からよく怒られていた」と笑いながら話されます。桶の外周部分は複数の木片を接合して作られているのですが、桶を上から見ると縁部分の木目が桶

るも、40歳を前に家業を継ぐことに。その当時は、全國各地の竹彫士を訪ねては竹彫りの技法を教わったそうです。

「竹は木と違って彫るのが難しいが、繊細な線を出せるところが、竹彫りの魅力。一人でも多くの人に竹彫りの魅力を伝えられれば。以前は生活のためにやってきたが、今後は一つでも多く良いもの残していきたい」「現代の名工」の受賞をきっかけに、竹彫りに対する情熱はさらに増しているようです。

「さぬきと言えばうどん。そのうどん鉢の裏に顔があってもいいんじゃないかなで、鬼の顔がついた、きっとこの世のどこにもないすごい器も生み出してしまった。」瀬戸内国際芸術祭に作家として参加し、中学生約3000人とともに女木島にたくさんの鬼[鬼瓦]で埋め尽くされた迫力ある景色を現出して見せたのも神内さんです。実は神内さんは、こどもたちに鬼瓦作りを教えるワークショップも行っています。笑顔が素敵な神内さん。その眼は今も粘土にまっすぐで、培った技術をもとに、創作への挑戦は続きます。

の中心に向かって綺麗に揃っていて、一つ一つが確かな職人の手仕事によってつくられ、細かいところにも上質な製品としての美しさがあります。販売を通して若い人たちと接する機会があり、桶の存在や本来の使い方を知らない人もいて、桶を桶として使わない新しい価値観に驚き、これから製品づくりについて「若い人が求めてくれるようなものを作りたい」と意欲的に取り組んでいます。この職人として約40年一日立ち止まらず進み続ける姿勢が、伝統工芸士としての谷川さんの原点なのかもしれません。

第6章 FESTIVAL

三木町最大のイベント 『獅子たちの里 三木まんて願。』

秋になると三木町内のいたる所から太鼓と鉦の音が聞こえてきます。三木町は『獅子たちの里』といわれるほど獅子舞が盛んに行われており、そんな中で三木町全域から獅子たちが集結する一大イベントが『獅子たちの里 三木まんて願。』です。

『まんてがん』というのは讃岐弁で『全部』という意味です。三木町の魅力【歴史・文化・自然・食材・ものづくり・人】をまんてがん集めて、三木町を元気にしたいという住民の『願い』を込めて平成24年10月に生まれた住民参加型のイベントです。

住民によって組織する実行委員会を中心となって、演出やイベントを創り上げ、みんなで参加し、楽しむということがこのお祭りの特徴です。

年々来場者も増えており、第7回を迎えた平成30年度には町内外から約6万人の人人が来場し大盛況でした。



三木まんて願。



ほくろく(きょうくち)



きつね(きょうくち)

『獅子たちの里 三木まんて願。』といえばなんといっても獅子舞。現在三木町には50を超える獅子連と3つの大獅子保存会があり、大獅子は女大獅子を含めて4頭が存在します。

毎年10月の第4週土曜日の1日だけ、三木町内で活動している各地区の獅子連と三木町が誇る日本最大級の大獅子を有する大獅子保存会が一堂に会し、ショッピングセンター「ベルシティ」駐車場及び文化交流プラザー帯の会場にて、勇壮な舞を披露します。

獅子連ごとに異なる個性豊かな舞や大獅子のダイナミックな舞は圧巻で、観る人を興奮の渦へ誘います。

その他、獅子舞以外にもたくさんの魅力が盛り込まれています。多くの人が参加し一緒に踊ることができる伝統芸能の一つである三木音頭、三木町の特産品や農産物を集め三木町の企業・ブランドを発信する豊年満作・三木ブランドゾーン、高校生や大学生が企画し運営するスクールゾーンなど、年齢や職業に関係なく小さなことからお年寄りまでみんなが参加し楽しめます。

住民が主体となって創り上げる『獅子たちの里 三木まんて願。』は三木町を活性化し、発信する地域ブランドの一つです。



住民総出の大イベント

三木町の獅子連

香川県全体の獅子連の数は800あまり。
三木町内にも50を超える獅子連があります。



川原友獅会(水上八幡神社)



長生獅子連(水上八幡神社)



高中原獅子連(雷八幡神社)



朝倉獅子連(雷八幡神社)



天枝獅子保存会(雷八幡神社)

いけのべはちまん 池戸八幡神社

宗戸若獅子連
四角寺香蓮寺獅子連
上池若獅子連
池戸中央若獅子連

ひかみはちまん 氷上八幡神社

長楽寺獅子組連 福万獅子連
中川獅子連 寺の前獅子連
氷谷原獅子連 東石塚三徳会獅子連
長生獅子連 丸岡獅子連
川原友獅会 嶽・青岸獅子連
**氷上八幡神社
重元・石ヶ坪大獅子保存会**

かみなりはちまん 雷八幡神社

穴田獅子若連中
天枝獅子保存会
高中原獅子連
上田中獅子連
中免獅子連
朝倉獅子連
宮尾獅子連



氷上八幡神社大獅子

天野神社大獅子

あまの 天野神社

藤田川南獅子連
鹿伏東獅子連
井上本村獅子連
平木下所・荒木獅子連
鹿伏獅子連
藤田川北獅子連
茶園獅子連
**天野神社大獅子保存会
天野神社大獅子保存会女大獅子**

わにかわ 鰐河神社

白山獅子連
塚脇獅子連
鍛冶獅子連
駒足獅子連
東股獅子連
四条獅子連
鳥打獅子連
正一・川原井獅子連
四條鰐河神社新開大獅子保存会

わにかわ 和爾賀波神社

高木獅子連
熊田獅子連
西中井戸獅子連
川西獅子連
南山田獅子連
二條獅子連
鹿庭中組獅子連
鹿庭上組獅子連
下屋獅子連
二本杉獅子連

くまの 熊野神社

北谷獅子連
中筋獅子連



平木下所・荒木獅子連(天野神社)



正一・川原井獅子連(鰐河神社)



二條獅子連(和爾賀波神社)



鹿庭中組獅子連(和爾賀波神社)

三木町便利マップ

公共施設 市外局番(087)

- ① 三木町役場(代表) ☎891-3300
- ② 井戸出張所・公民館 ☎898-6404
- ③ 田中出張所・公民館 ☎898-0504
- ④ 神山出張所・公民館 ☎899-0330
- ⑤ 老人福祉会館あけぼの荘 ☎898-7650
- ⑥ 三木浄化センター ☎891-3315
- ⑦ 保健センター ☎898-5658
- ⑧ クリーンセンター ☎898-2554
- ⑨ 池戸商工センター ☎891-0876
- ⑩ 文化交流プラザ ☎898-9222
- ⑪ 平木コミュニティ会館 ☎891-0881
- ⑫ 平木文化センター ☎898-6892
- ⑬ 白山文化センター ☎898-4708
- ⑭ 町民柔剣道場 ☎891-3314
- ⑮ 農村環境改善センター ☎891-3318
- ⑯ 井戸教育集会所 ☎898-3851
- ⑰ 白山教育集会所 ☎898-9116
- ⑱ ウォーキングセンター ☎891-1789
- ⑲ 地域交流センター ☎891-1321
- ⑳ サンサン館みき ☎891-0333
- ㉑ 総合運動公園 ☎899-1155
- ㉒ 共同福祉施設(ゆーぱる三木) ☎899-1122
- ㉓ 鹿庭コミュニティセンター ☎899-1138
- ㉔ みきの家 ☎899-1125
- ㉕ しづかの里 ☎899-1161
- ㉖ 農村運動広場 ☎898-8212
- ㉗ 南部高齢者保健センター ☎899-0013
- ㉘ 津柳地区コミュニティセンター ☎899-0013
- ㉙ 希少糖研究研修センター ☎899-1867
- ㉚ 虹の滝キャンプ場 ☎891-3308
- ㉛ 香川大学農学部 ☎891-3008
- ㉜ 香川大学医学部 ☎898-5111
- ㉝ 香川大学医学部附属病院 ☎898-5111
- ㉞ 防災センター ☎891-3317
- ㉟ まんでがんふれあいホーム ☎898-2759

警察・消防署

- ㉟ 高松東警察署 ☎898-0110
- ㉟ 高松市三木消防署 ☎898-4119

景勝地

- ㉙ 熊野神社の二本杉
- ㉚ 虹の滝
- ㉛ 静薬師
- ㉜ 三つ子石

大獅子4頭勢揃いは「三木まんで願。」の1日だけ

獅子連や大獅子保存会は神社ごとでそれぞれ活動しており、秋には各神社の宵祭りと本祭りで獅子舞を奉納しています。この時期になると町中から太鼓と鉦の音が聞こえ、三木町の秋の訪れを感じさせる風物詩となっています。しかし、代々引き継がれてきた曲も流儀も異なる、神社の違う獅子連が一緒に舞うことはありません。そんな獅子たちを一度に観ることができるのは「三木まんで願。」の1日だけ！普段は別々に活動する獅子連もこの日に限り神社の垣根を越えて集結します。日本最大級と云われる大獅子を含め、4頭もの大獅子が一堂に並ぶのもこの日だけ。1頭でも大迫力な大獅子が4頭も演舞する姿はまさに壯觀です。「獅子たちの里」といわれる三木町の獅子舞を、余すことなく最大限感じることができます。この日だけはみんな獅子ばっこ！